

子どもを真ん中にした繋がりを目指して

—特定非営利活動法人はらっぱ—

〒662-0852 西宮市中殿町 6 番 32 号

TEL/FAX : 0798-22-3561

E-mail : [npo-harappa@hcc1.bai.ne.jp](mailto:npo-harappa@hcc1.bai.ne.jp)

<http://hccweb1.bai.ne.jp/npo-harappa/>

## 「あの日を想って」

1月14日(土)に今年も阪神淡路大震災祈念イベント「あの日を想って」を開催しました。

とても寒くなるという天気予報に身構えていましたが、おひさまがでてきたおかげでそこまでの寒さは感じず、庭では「よいしょ!よいしょ!」とにぎやかなかけ声と共に、おもちをつくい音が聞こえていました。室内では、つきたてのおもちをみんなでせっせと丸め、できたてをほおばり・・・何とも幸せそうな顔がたくさんでした。



また室内には、防災グッズ、非常食の紹介コーナー

も設け、震災当時のはらっぱの様子もパネルで展示。試食コーナーでは、「日常でも災害時でもあると便利な乾物ストックを!」ということで、油麩と缶詰を使った料理の紹介をしました。また、室内イベントとしては NVNAD(日本災害救援ボランティアネットワーク)の寺本さんと、関西学院大学の学生ボランティアのお二人にも来ていただき、水害で大きな被害を受けた佐用町への継続的な支援活動についてお話を伺いました。そして、最後はもちろん、春待ちファミリーバンドでにぎやかに、そして元気にフィナーレを迎えました。

今年も保育所の子どもたち、その保護者に加え、地域の方々、オープンはらっぱに来てくださっている親子の方々、そして卒園した子どもたちもたくさん参加してくださいました。今後もあの日を想い、そして伝えていくことを、はらっぱなりに考え、そして継続して取り組んでいこうと思います。

「あの日を想って」の事業は、ひょうご安全の日推進事業の助成を受けて行っています。

**2016年12月17日(土)の18時から理事会を行ないました。**

- ☆ 4月1日～11月30日の決算報告
- ☆ 7～11月活動報告
- ☆ 就業規則の変更について
- ☆ 小規模保育事業監査報告
- ☆ 来年度の保育について
- ☆ スタッフの待遇について
- ☆ 次年度入所募集に関して

- ☆ 次年度の活動について
  - ☆ 保育所運営状況の報告・12月17日現在の在籍児内訳
- |                |       |       |
|----------------|-------|-------|
| 0才-4名          | 1才-9名 | 2才-8名 |
| 3才-8名          | 4才-5名 | 5才-3名 |
| 計37名(小規模、認可外計) |       |       |
- 次回理事会は、2月の予定 於法人事務室

## 東野さん（ゴリラ）が亡くなりました

1月6日に亡くなったと新聞記事で知りました。入院されていた病院で最後の展覧会をしているということも同時に知り9日病院へと向かいました。病院の渡り廊下が展覧会会場でした。受付をされていたのは看護師さんたちでした。受付の横にスクリーンがあり、昨年この時期に催されたイベント会場の様子が映し出されていました。そのイベントは、東野さんからご自分の病気と余命を伝える集まりでした。びっくりする位の方々がつめかけてきました。本当に皆びっくりしたのです。そしてびっくりして駆けつけてきた人たちが膨大な数だったのです。東野さんに触れた人たち、心動かされた人たちが膨大だったということです。それから1年、様々なイベントが組まれ続けました。イベントの予定がある間は、東野さんは死なないと、皆信じているかのように。私たちも“追っかけ”をしました。追いかけて続けました。昨年の暮れ、東野さんの作品を含めポト(絵巻物紙芝居)の大展覧会がありました。東野さんは、その会場に病院から出てくる事ができませんでした。そして、明けて1月6日の訃報でした。

震災の後、行き場のない子どもたちの遊び場として、子どもが自分を表現できる場として始めたお絵かき教室でした。そして、お絵かきにとどまらず、紙芝居を時選ばず演じていただきました。贅沢な日々だったなあと思います。はらっぱの節目節目のイベントでは、いつも楽しい企画を用意してくれました。お世話になりっぱなしでした。東野さんには、いろいろな導きを頂きました。それを忘れないようにして行きたいと思います。本当にできるかな…と心細い思いもしますが、『なにいうてんねん！！やりたいようにやったらええねん！できんかったらそれでもええねんで』と言う東野さんの声が聞こえてくるような気がします。

病院での展覧会、病室での東野さんの写真もあって、インドの聖人みたいな東野さんが笑っていました。心からご冥福を祈るとともに「ありがとう」の想いも伝えるために、はらっぱで「お絵かき教室」をします。

**2月25日(土)午後1時～3時** (いつもと時間が違います) どうぞご参加ください。要申込み要参加費

### 活動報告

- \*11/12(土) バザー
- \*11/19(土) 正子さんの子育て相談室  
おはなしの会  
「子どもに絵本をよむおはなしをするということ」  
午後2時 講師おはなしおじさん(中崎さん)
- \*11/23(水) 芋煮会
- \*11/28(月) ぐーにゃんの人形劇と歌  
11月のオープンはらっぱは、5,19,26日  
11月のラ・ラ・ラカフェは、19,26日
- \*12/10(土) おはなしの会
- \*12/16(金) こねこねべたべた(クッキー)
- \*12/17(土) 正子さんの子育て相談室
- \*12/26(月) AM「影絵と歌」公演  
12月のオープンはらっぱは、3,10,17  
12月のラ・ラ・ラカフェは、10,17日

- \*1/14(土) あの日を想って
- \*1/21(土) おはなしの会  
1月のオープンハラッパは、7,14,21,28日  
1月のラ・ラ・ラカフェは、21,28日

### 活動予定

- \*2/18(土) 正子さんの子育てトーク  
おはなしの会・心肺蘇生講座
- \*2/24(金) みそ作り
- \*2/25(土) PM1～3じお絵かき教室  
2月のオープンはらっぱは、4,18,25日  
2月のラ・ラ・ラカフェは、4,25日
- \*3/11(土) バザー
- \*3/18(土) 正子さんの子育て相談室  
おはなしの会  
3月のオープンはらっぱは、4,18日  
3月のラ・ラ・ラカフェは、18日

## 今年度のオープンはらっぱ

今年度(2016年4月～)、オープンはらっぱはもう8年目を迎えました。8年前ドキドキで迎えたオープンはらっぱに在園の保護者の方々が気にかけてよく遊びに来て下さった事、すぐに保護者以外の常連さんたちが来てくれるようになり地域のお母さんと保育所のお母さんたちが一緒に楽しそうに語らう風景が見られるようになった事、子育てで悩んでおられたお母さんがこどもの成長と共に自信をつけ元気になっていかれた事等々…ほんの少し前のことのように甦りますが、もう8年もたつんだなあ感慨深いです。

この2、3年、保育所の待機児童の増加に伴い公立、認可園が無理そうなら無認可はどうか？と保育所探しの為の来所者が多く状況を聞いたりアドバイスしたりしてきましたがはらっぱも入所が難しいとわかるとその後は来られない方々も多かったです。親は保育所探しに必死ですから当然です。来所者が無事に安心な保育所に出会えることをいつも祈ってきました。

そんな中でも今年は少し変化があり、オープンはらっぱに来るために土曜日は仕事のシフトを入れずに遊びに来てくれる常連さんや、海外在住だけどハラッパのバザーに合わせて里帰りされている方もあり！お友だちを新たに誘って来てくれたり、オープンはらっぱで出会い次回を約束するわけではなくはらっぱで出会う偶然を楽しんでおられる方々も。そんな素敵な出会いの場をオープンはらっぱが提供できている事に私はとても幸せを感じます。

又、今年度は月2回「ラララ カフェ」がオープンはらっぱの中で開催されているのでシニアの方々や新しい親子連れも増えています。山崎さんがたて下さる煎りたての美味しいコーヒーや、卒園児の元パティシエのお母さんが朝作って届けて下さる美味しいクッキーも魅力です。その他シニアの方々が保育ボランティアに参加されたり新しい展開も広がっています。イベントに参加された後にオープンはらっぱに遊びに来て下さる親子も多いです。

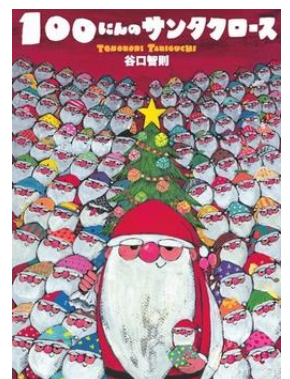
来て下さった方々がほっとして寛げるお家のようなオープンはらっぱでありたいと思っています。ちょっと子育てに疲れてたお母さんがオープンはらっぱに来てみんなと話して少し元気になってまた遊びに来てくれる、そんなエネルギーをチャージできる憩いの場をこれからも作っていきたいです。庭の桜の木のようにどっしりとして全てを見守る暖かさ自然さに溢れた空間を！

[オープンはらっぱ専従スタッフ 勝本裕子]

## クリスマスおはなし会

12月18日(金)に『クリスマスおはなしの会』を開催しました。クリスマス会の日に合わせて数年前から毎年行っており、スクリーンに映し出された絵本に合わせておはなしをしています。今年は『100にんのサンタクロース』という、たくさんのサンタクロースがでてくるかわいいおはなしでした。

おはなしをして下さる山本幸枝さんは、オープンハラッパのおはなしの会やクリスマスおはなしの会で長い間お世話になっており、包み込んでくれるような優しい声がとても素敵な方です。今回も子どもたちと一緒に心なやませてもらいました。クリスマスおはなしの会は、いつもより少しだけ特別に。小さな映画館のように楽しんでもらえるとうれしいなと思っています。



この事業は、「子どもゆめ基金」の助成を受けています。

## NPO はらっぱの会員になってください

私たちは西宮市において個人と個人の結びつきの中ではらっぱ保育所を基盤として活動してきました。

この間、子どもたちの置かれている状況はますます困難の多いものとなっています。それは社会全体が幼いもの、未熟なものを守り育む力を失いつつあることに起因していると考えます。はらっぱの今後の方向として、私たち一人ひとりの思いを法人という形にまとめ、社会に働きかけるためのより広範な活動を目指して、NPO(非営利活動)法人を取得しました。

この法人は会員の会費によって主に運営されていきます。

会員としては

- ① 総会等に出席し決議権を持つ正会員
- ② 目的に賛同し、寄付行為によって賛助する賛助会員の二種類があります。

NPO はらっぱはより多くの皆様の力を必要としています。私たちと一緒に子どもたちの未来を考えて下さい。よろしくお願ひいたします。

正会員 年会費 6,000 円

賛助会員 年会費 3,000 円

(賛助会費は、一人複数口でもお願ひしています。)

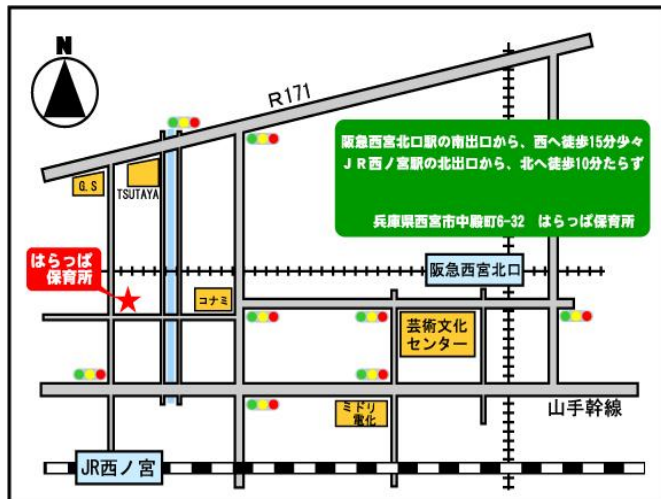
## はらっぱ保育所のご案内

はらっぱ保育所は 1979 年にスタートしました。親と保育者が子どもを真ん中にしてつながりあう場がほしいという願いから、親とその友人たちで作った保育所です。

1 ヶ月の保育料金 (7:30~18:30 週 5 日) は概ね以下の通りです。保育時間等はお相談ください。

食費、おやつ、施設維持費は別途お願ひします。延長保育、緊急、一時保育もお受けいたします。

月極め	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳
一日	75,000	70,000	65,000	60,000	50,000	40,000
半日	43,000	41,000	39,000	37,000	34,000	24,000



### 建て替え資金援助のお願い

震災で全壊したはらっぱは、プレハブ園舎での 12 年に及び生活を経て、2007 年 6 月末に木造本建築での再建をすることができました。これも、卒園児やその保護者をはじめとする支援者の皆様のおかげです。しかし、現在は借入金を返済しつつの事業運営となっています。

はらっぱの今までの活動を継続し発展させ続けるために、引き続きカンパなど、活動のご支援をお願いします。

現在の借入金：290,000 円(2017 年 1 月 17 日現在)

郵便振替口座番号：00910-5-134367 口座名称：特定非営利活動法人はらっぱ  
御寄付 いくらからでも (お貸付の受付は終了いたしました。ありがとうございました。)

**編集後記** 新しい年が明けました。今年はどうなるのでしょうか?少しドキドキの新年です。年明けてすぐに東野さんの訃報が入りました。これからお絵かき教室はどうなるのか、今、思案中です。東野さんのことも思いつつ、今年の 1 年の計画を立てていこうと思っています。今年、今の建物が建てて 10 年目になります。震災より 22 年、再建より 10 年の年です。こんなはらっぱを変わず宜しくお願いします。